

「感染拡大を抑制し社会経済活動を継続するための対策期間」延長に伴う市長メッセージ

豊見城市長 山川 仁

1 県内の感染状況

沖縄県は「感染拡大を抑制し社会経済活動を継続するための対策期間」を5月22日まで延長しました。沖縄県内では、10代及び10歳未満の若年層並びに高齢者に感染が拡大しています。併せて、人口10万人あたりの新規陽性者数も600名を超えており、極めて高い水準が継続しています。

また、県は、昨年5月の大型連休間における大勢の人の往来や普段会わない家族・親族との交流等により、連休明けに感染が急拡大したことから、この連休間は、昨年にも増して感染対策を徹底する必要性があり、社会経済活動を継続し医療体制の逼迫を避けるため積極的に3回目のワクチン接種を推進するとともに、祖父母・親族との交流の前に「ワクチン検査パッケージ」による無料検査も推奨しています。

2 豊見城市の対応

市は、県方針に基づき、市民の皆さんに対し基本的な感染症対策の徹底を図ることをお願いするとともに、3回目のワクチン接種を加速・推進いたします。

また、感染が拡大傾向にある10歳代及び10歳未満の子供たちを感染から守ることが、主な感染経路となっている家庭内感染を防ぐことにつながることから、家庭や教育現場等における基本的な感染対策の徹底を図ります。

3 市民の皆様へのお願い

市民の皆さんには、これ以上の感染拡大を防止するため、次の4つの事項に協力をお願いします。

- ① 重症化リスクの高い高齢者に感染を拡げないよう協力をお願いします。
高齢者の方へ面会する際には、ワクチン接種及び事前のPCR等検査を実施して感染を防止してください。
- ② 子供たちを感染から守るため、保護者、保育・教育関係者、児童施設関係者の皆さんは、子供たちと一緒に基本的な感染対策を実践する等確実な感染対策の徹底へのご協力をお願いします。
- ③ 感染リスクを回避するために、混雑した場所への外出を避けるとともに、会食等においては、「4人以下で、3密を避け、2時間以内」で、また、飲食店は感染防止対策の徹底をお願いします。
- ④ ワクチン接種の加速を図るため、3回目のワクチン接種及び1回目、2回目未接種者の方も含め速やかなワクチン接種へご協力をお願いします。

また、予期せぬ家族の感染により、自宅療養のため外出が出来ず、食糧や日用品の購入にあわてることのないよう、連休前に各御家庭の備蓄を確認してください。

自分自身、大切な方、医療や地域社会を守るためにも基本的な感染対策として「こまめな手洗い」、「マスクの着用」、「日々の検温等の健康観察」を行い、お一人お一人が感染防止対策に取り組んでいただくようお願いいたします。